

カンボジア人日本語学習者による『のど自慢大会』

1月15日（日）カンボジア日本人材育成センター（CJCC）内、アンコール絆ホールにおいて、同センターおよび日本大使館共催、日本語学習者による『のど自慢大会』が開催されました。



GROUP PHOTO TAKEN WITH JURIES

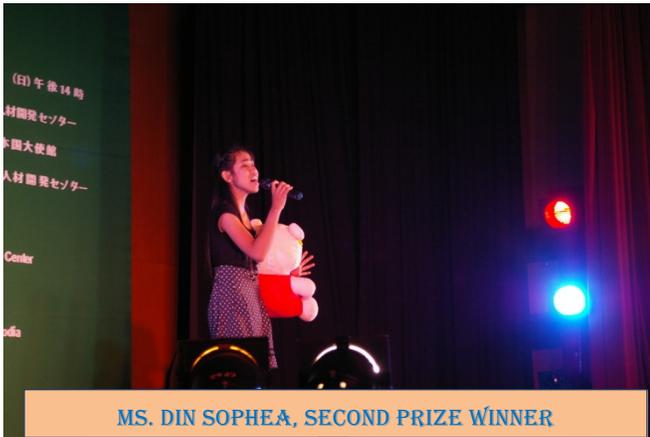
同大会には全国から147組の応募があり、プノンペンおよびシェムリアップで行われた予選の結果、15組のファイナリストが選抜され、各々練習の成果を披露しました。会場には400人以上の観客が詰めかけ、自分の友人や同じ日本語学校の生徒がステージに上がるたびにスピー

カーからの音が聞こえなくなるほど大きな歓声をあげ、熱心に応援していました。

見事第一位に輝いたのはすばらしい歌声で「さくら独唱）」を歌い上げた王立プノンペン大学外国語学部から出場のテット・チャンソテアさん。第二位はカンボジア日本ビジネススクールから参加したデイン・ソペアさん、第三位は同学校から参加のオック・スレイモムさんでした。その他息のあったダンスを披露したモウン・ソパートさん他5名（タヤマ日本語ビジネススクール）にはパフォーマンス賞、日本語の発音が綺麗な方に贈られる日本語発音賞にはハイ・ソチェアターさん（JHC アンコールツアー）が選ばれました。入賞者にはそれぞれ賞状や賞品が贈られ、優勝者には最後にもう一度優勝曲を歌っていただき、大会を終えました。



THE FIRST PRIZE WINNER



MS. DIN SOPHEA, SECOND PRIZE WINNER



THE GROUP OF BEST PERFORMANCE

この『のど自慢大会』は、通常のスピーチコンテストでは入賞しにくい日本語初習者に優勝する喜びを感じてもらい、初習から上級レベルまで、あらゆる学習者の日本語学習の意欲を高めることを企図しています。また、日本語の歌唱を通じて、気軽に日本の文化に親しみ、理解を深めてもらう機会ともなっています。



THE CONTEST PARTICIPANTS